

「写」

愛媛労発基 0827 第 1 号
令和 3 年 8 月 27 日

社会福祉施設の事業者 殿

愛媛労働局長

社会福祉施設において増加する転倒災害の撲滅に向けて（お願い）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、労働災害防止対策の推進について御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がいまだ終息しない中、感染防止に努めながら、高齢者や介護を必要とする方々の健やかな社会生活を支えておられますことに深く敬意を表します。

さて、愛媛県内の労働災害は、長期的には減少していますが、近年は増減を繰り返しており、どちらかといえば増加に転じています。令和 2 年の愛媛県における全産業の労働災害による休業 4 日以上之死傷者数は 1,552 人と、前年比 62 人(4.2%)の増加となっており、特に社会福祉施設では 141 人が被災し、前年比 42 人(42.4%)の大幅な増加となっています。

社会福祉施設における労働災害を見ますと、「転倒」によるものが 41.1%と大部分を占めています。また、年齢別で見ますと、高年齢労働者が増加している状況もあり、死傷者数のうち 60 歳以上の高年齢労働者の占める割合が 40.4%と、全産業の 29.1%より高くなっています。さらに、社会福祉施設においては、労働者の入れ替わりが多いことやシフト勤務であることから、安全衛生教育が十分ではない等の問題点が認められるところです。

このような状況を踏まえ、社会福祉施設における労働災害を減少させるためには、高年齢労働者への配慮を踏まえた転倒災害防止対策を効果的かつ確実に実施することが重要です。

そこで、貴事業場におかれましては、下記のとおり事業主の皆様を実施いただきたい事項、労働者の皆様を実施いただきたい事項をそれぞれ取りまとめましたので、労使一体となって転倒災害の撲滅にお取り組みいただきますよう、よろしくお願いいたします。

「写」

記

1 事業主の皆様を実施いただきたい事項

転倒災害防止対策（4つのポイント）

- （1）4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）を推進しましょう
- （2）転倒危険箇所を見える化しましょう
- （3）床面の滑り、つまずきの原因を解消しましょう
- （4）作業に適した靴を選定しましょう

別添1リーフレット「社会福祉施設の事業主の皆様へ」を参考にしてください。

2 労働者の皆様を実施いただきたい事項

今すぐできる転倒防止対策（4つのポイント）

- （1）4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）を実践しましょう
- （2）時間に余裕をもって行動しましょう
- （3）階段では両手で大きな荷物を持たないようにしましょう
- （4）作業に適した靴を履きましょう

別添2リーフレット「社会福祉施設で働く皆様へ」を職員の皆様に配布してください。

厚生労働省では、転倒災害防止に向けて情報発信をするポータルサイト「STOP！転倒災害プロジェクト」を設けています。

このポータルサイトでは、転倒災害防止のための資料や教材、セミナーの案内など様々な情報を確認することができますので、

STOP！転倒 のキーワードで検索してください。

(<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/tentou1501.html>)

社会福祉施設の事業主の皆様へ

社会福祉施設の労働災害が増加しています！

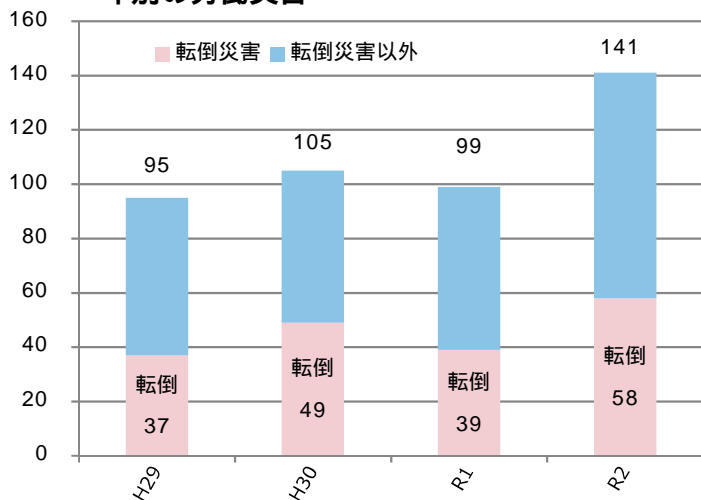
令和2年に愛媛県の社会福祉施設で発生した労働災害のうち

転倒災害が約4割を占めています

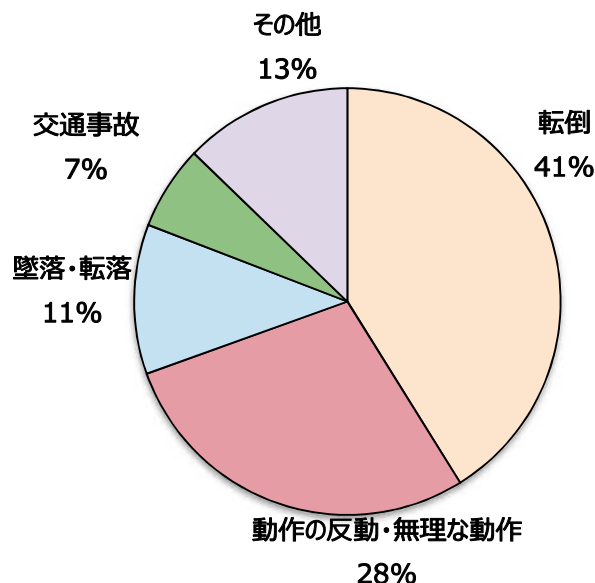


社会福祉施設の労働災害（愛媛県）

<年別の労働災害>



<事故の型別、令和2年>



転倒災害の態様と主な原因

転倒災害は、大きく3種類に分けられます。

<p>滑り</p>	<p>つまずき</p>	<p>踏み外し</p>
<p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・床が滑りやすい素材である。 ・床に水や油が飛散している。 ・ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている。 ・履物が滑りやすい。 	<p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・床に凹凸や段差がある。 ・床や通路に荷物、介護用品が放置されている。 ・通路に電気コード等を横断させている。 	<p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で階段を下りている。 ・急いで階段を下りている。 ・足元が見えづらいロングスカートを着用している。

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください！
「STOP！転倒災害プロジェクト」

STOP！転倒

検索

転倒防止対策の4つのポイント

転倒災害を防止することで、安心して作業が行えるようになり作業効率もあがります。



ポイント1 4S活動を推進しましょう！

4Sとは、「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」のことで、これらを日常活動として行うのが4S活動です。

4S活動は、災害防止だけでなく、作業のしやすさ等の効果も期待できます。

- ・通路にものを放置しないようにしましょう
- ・用具・介護用品等は決められた場所に置きましょう
- ・床の汚れ（水、油、粉など）を取り除きましょう

ポイント2 転倒危険箇所を見える化しましょう！

転倒危険箇所、ヒヤリ・ハット事例の多い箇所などをステッカーなどで明示し、職員を含めみんなで危険情報の共有を図りましょう。

- ・転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起しましょう
- ・危険マップの作成により危険情報を共有しましょう

ポイント3 床面の滑り、つまずきの原因を解消しましょう！

転倒災害につながる滑り、つまずきの原因を、改善しましょう。

- ・床面の凸凹や段差を解消しましょう
- ・滑りにくい床材、床塗装材への変更を検討しましょう

ポイント4 作業に適した靴を選定しましょう！

以下を参考に作業に適した靴を選定しましょう。

<転倒しないための靴選びのポイント>

サイズ

小さすぎても大きすぎても踏ん張りがきかず、バランスを崩しやすくなります。

屈曲性

屈曲性が悪いとすり足になりやすく、つまずきの原因になります。

重量

重すぎると足が上がりにくくなり、つまずきの原因になります。

つま先部の高さ

つま先の高さが低いと、ちょっとした段差にもつまずきやすくなります。

靴底と床の耐滑性のバランス

作業場所や内容に合った耐滑性であることが重要です。例えば、滑りにくい床に滑りにくい靴底では摩擦が強くなりすぎてつまずきの原因になります。



社会福祉施設で働く皆様へ

今すぐできる転倒防止対策（4つのポイント）

社会福祉施設の労働災害が増加しています！
令和2年に愛媛県の社会福祉施設で発生した労働災害のうち
転倒災害が約4割を占めています



ポイント1 4S活動を実践しましょう！

4Sとは、「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」のことで、これらを日常活動として行うのが4S活動です。

4S活動は、災害防止だけでなく、作業のしやすさ等の効果も期待できます。
通路にものを放置しない、用具・介護用品等は決められた場所に置く、床の汚れ（水、油、粉など）は取り除くなどを心がけましょう。

ポイント2 時間に余裕をもって行動しましょう！

急いでいる時でも走らないよう、時間に余裕をもって行動しましょう。

ポイント3 階段では両手で大きな荷物を持たないようにしましょう！

階段で両手で大きい荷物を持つと、足元が見えず転倒の危険があります。足元が見えにくい状態で作業しないようにしましょう。

また、なるべく手すりを持つように心がけましょう。

ポイント4 作業に適した靴を履きましょう！

転倒の主な原因のうち、「滑り」と「踏み外し」は、靴底の滑りにくさを上げることで転倒リスクを下げるすることができます。

滑りにくさや、屈曲性、重量などに留意し、作業に適した靴を履きましょう。

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください！

「STOP！転倒災害プロジェクト」

STOP！転倒

検索



あなたの職場は大丈夫？

転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート



チェック項目		<input type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	用具・介護用品等の置き場所が決められていますか	<input type="checkbox"/>
4	段差のある箇所や滑りやすい場所などは標識などで注意喚起していますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
8	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>
9	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>

チェックの結果は、いかがでしたか？

問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合いましょう！

まずは、職場内で情報共有

転倒危険場所を見える化しましょう！

転倒の危険を感じた場所の情報を収集し、労働者への共有を図ることが大切です。危険場所に下のステッカーの掲示を行うなど、**転倒の危険を見える化しましょう！**

下のステッカーは、「STOP！転倒災害プロジェクト」のホームページからもダウンロードできます。

切り取り線

転倒危険！



コメント

切り取り線